

こまきこども未来館講座運営評価シート

【評価点について】		
S	大変よくできた。	評価のポイントを意識し取り組み、また改善・発展させ、大きな成果が出ている。
A	よくできた。	評価のポイントを意識し取り組み、また改善・発展させている。
B	できた。	評価のポイントを意識し取り組んでいるが、さらなる発展を期待する。
C	あまりできなかった。	評価のポイントを意識し取り組んでいるが、取り組みを評価できる状況まで至っていない。
D	ほとんどできなかった。	評価のポイントの一部又は全てに取り組めていない。

あそび	利用対象児童(0歳～18歳)が日常的に気軽に利用できる環境づくり		自己評価点	S ・ A ・ B ・ C ・ D
	【評価のポイント】 ・児童館は0歳～18歳までのすべての児童が自らの意思でひとりでも利用することができる環境づくりが大切。 ・すべての児童が気兼ねなく、いつでも、何度でも気軽に利用できる環境となっているか。 ・すべての年齢層が十分に利用できているか。		{コメント}{エピソード} 【評価点の理由】	
	活動を通じた発達の増進		自己評価点	S ・ A ・ B ・ C ・ D
	【評価のポイント】 ・児童館は、児童と長期的・継続的に関わり、遊びや創作活動などを通じて、児童の発達の増進を図ることが大切。 ・児童の発達の特徴や発達過程を理解し、 発育段階に応じた個人差を踏まえて 知識や技術の習得に向けた身体活動や創作活動ができているか。 (参考) 乳幼児期:大人との信頼関係を基にして児童同士の関係をもてるようになっているか 児童期:多様で創意工夫が加わった遊びを想像できるようになっているか 思春期:自分と仲間に対して信頼と安心を抱けているか		{コメント}{エピソード} 【評価点の理由】	
いそもまなび	児童が主体的かつ創造的に活動できる環境づくり		自己評価点	S ・ A ・ B ・ C ・ D
	【評価のポイント】 ・児童館は決まった遊びを児童に与えるだけでなく、主体的かつ創造的に活動できることが大切。 ・児童が、自由な発想で工夫して創造できる環境となっているか。 ・児童の自主性や主体性を育む企画となっているか。 ・ 児童の意見の聴取やその反映を できているか。		{コメント}{エピソード} 【評価点の理由】	
	学びを振り返り成長を実感できる環境づくり		自己評価点	S ・ A ・ B ・ C ・ D
	【評価のポイント】 ・主体的に活動を進めるには、これまでの学びを振り返り、自分を客観視し、次の学びへ繋げる連続性が大切。 ・目的や方法を自ら考えることができる力を育てる環境となっているか。また、働きかけができているか。 ・これまでの自分の活動を振り返ることができる仕組みや環境を設けているか。		{コメント}{エピソード} 【評価点の理由】	
交流	利用者同士の関係を豊かにする交流環境づくり		自己評価点	S ・ A ・ B ・ C ・ D
	【評価のポイント】 ・児童館は幅広い年齢の児童が出会い、交流できる場であることが大切。 ・講座や活動において、異年齢児童と一緒に交流しあって取り組める工夫がされているか。		{コメント}{エピソード} 【評価点の理由】	
	障がいの有無や国籍の違いを越えて児童がお互いの理解を深める取り組み		自己評価点	S ・ A ・ B ・ C ・ D
	【評価のポイント】 ・すべての児童を対象とする活動を行う児童館では、様々な児童がお互いに理解を深められる工夫が大切。 ・障害の有無や、国籍の違いを越えて思いやりを育み、学びあいができる働きかけや工夫ができているか。		{コメント}{エピソード} 【評価点の理由】	
講座	様々な遊びや体験を通して楽しみながらそれぞれの学びを見つけ、未来リテラシーを育む取り組み		自己評価点	S ・ A ・ B ・ C ・ D
	【評価のポイント】 ・目標達成にむけて年度毎に設定された計画を達成できたか。 ※目標:実施計画における中長期のVisionを指す		{評価点の理由}	

保護者	保護者にとっても楽しく過ごしやすい環境づくり	自己評価点	S ・ A ・ B ・ C ・ D	講座運営会議評価	S ・ A ・ B ・ C ・ D
	【評価のポイント】 ・保護者同伴で来館する幼児親子などにとっては、一緒に体験する保護者も過ごしやすいことが大切。 ・児童だけでなく、保護者も一緒に楽しむ工夫や、くつろげるよう取り組みがされているか。	【コメント】 【エピソード】 【評価点の理由】		【評価に対するコメント】	
	保護者同士の交流環境づくり	自己評価点	S ・ A ・ B ・ C ・ D	講座運営会議評価	S ・ A ・ B ・ C ・ D
	【評価のポイント】 ・児童館における保護者同士の交流は、子育ての悩みや喜びを分かち合う大切な機会である。 ・活動への参加だけでなく、保護者同士が交流する機会となるよう意識した運営となっているか。	【コメント】 【エピソード】 【評価点の理由】		【評価に対するコメント】	
運営	地域との積極的な連携および地域住民が関わりやすい環境づくり	自己評価点	S ・ A ・ B ・ C ・ D	講座運営会議評価	S ・ A ・ B ・ C ・ D
	【評価のポイント】 ・地域ぐるみで一緒に良い児童館を創り上げていくために、地域の団体や企業、住民との良好な連携が大切。 ・地域の団体や企業、住民に積極的に協力や連携を働きかけているか。また、様々な形で連携を行っているか。 ・団体、企業などのグループだけでなく、地域住民や保護者などが個人でも関わりやすい環境となっているか。	【コメント】 【エピソード】 【評価点の理由】		【評価に対するコメント】	
	利用促進につながる効果的な広報活動	自己評価点	S ・ A ・ B ・ C ・ D	講座運営会議評価	S ・ A ・ B ・ C ・ D
	【評価のポイント】 ・運営への理解を広め、ここでしかできない活動の魅力の周知は、活動への参加を促すために大切な活動である。 ・効果的な広報活動ができているか。施設周辺地域だけでなく、市域全域（及び市外）に広く広報できているか。	【コメント】 【エピソード】 【評価点の理由】		【評価に対するコメント】	
	児童へのかかわり	自己評価点	S ・ A ・ B ・ C ・ D	講座運営会議評価	S ・ A ・ B ・ C ・ D
	【評価のポイント】 ・児童館の職員は、活動の援助・指導と共に、個々の児童に対して体調や心理状態に応じた適切な対応が必要。 ・失敗やトラブルに対し、自己肯定感を育み、より良い方向へ成長していけるよう適切な関わりができているか。 ・一人で来館したり、悩みや不安を抱える児童へ適切な関わりができているか。	【コメント】 【エピソード】 【評価点の理由】		【評価に対するコメント】	